

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	2019年11月8日
【四半期会計期間】	第46期第3四半期（自 2019年7月1日 至 2019年9月30日）
【会社名】	クリエートメディック株式会社
【英訳名】	CREATE MEDIC CO.,LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 佐藤 正浩
【本店の所在の場所】	神奈川県横浜市都筑区茅ヶ崎南二丁目5番25号
【電話番号】	(045)943-2611(代表)
【事務連絡者氏名】	取締役専務執行役員 管理本部長 橋井 敦
【最寄りの連絡場所】	神奈川県横浜市都筑区茅ヶ崎南二丁目5番25号
【電話番号】	(045)943-2611(代表)
【事務連絡者氏名】	取締役専務執行役員 管理本部長 橋井 敦
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 第一部【企業情報】

### 第1【企業の概況】

#### 1【主要な経営指標等の推移】

回次	第45期 第3四半期連結 累計期間	第46期 第3四半期連結 累計期間	第45期
会計期間	自 2018年1月1日 至 2018年9月30日	自 2019年1月1日 至 2019年9月30日	自 2018年1月1日 至 2018年12月31日
売上高 (千円)	7,840,424	7,733,868	10,796,964
経常利益 (千円)	661,095	675,710	999,827
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益 (千円)	444,701	452,525	672,536
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	275,806	247,187	343,778
純資産額 (千円)	12,818,094	12,779,110	12,886,024
総資産額 (千円)	17,222,079	16,661,635	17,237,662
1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	47.74	48.58	72.20
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	74.4	76.7	74.8

回次	第45期 第3四半期連結 会計期間	第46期 第3四半期連結 会計期間
会計期間	自 2018年7月1日 至 2018年9月30日	自 2019年7月1日 至 2019年9月30日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	11.07	15.72

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
4. 「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度に係る主要な経営指標等については、当該会計基準等を遡って適用した後の指標等となっております。

#### 2【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

## 第2【事業の状況】

### 1【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

### 2【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

#### (1) 財政状態及び経営成績の状況

##### 経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益の回復や雇用・所得環境に改善が見られるものの、米中貿易摩擦や英国のEU離脱問題に端を発した金融市場の変動により、先行き不透明な状況が続いております。

国内の医療機器業界におきましては、国の医療費抑制策が進むなか、高齢化を背景に低侵襲治療や再生医療へのニーズは高く、今後の技術革新が期待されております。

このような状況の下、当社グループは、自社販売の重点分野である泌尿器系製品の営業活動を推進し、海外販売では中国の重点都市への販売拡大に積極的に取り組むとともに、生産面の原価低減と品質向上に注力して参りました。

これらの活動により、売上高につきましては、海外販売が好調を維持したものの、OEM販売が一部製品の販売を終了したことで、グループ全体で前年同期を下回る結果となりました。

一方、利益面につきましては、販売費及び一般管理費が若干増加したものの、生産拠点の原価低減と生産最適化により原価率が低下したことにより、前年を上回る結果となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高7,733百万円（前年同期比1.4%減）、営業利益704百万円（前年同期比11.0%増）、経常利益675百万円（前年同期比2.2%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益452百万円（前年同期比1.8%増）となりました。

販売形態別の販売状況は、次のとおりであります。

（単位：百万円）

	前第3四半期連結 累計期間	当第3四半期連結 累計期間	前年同期比	
			金額	増減率
自社販売	4,541	4,581	39	0.9%
海外販売	2,097	2,217	119	5.7%
OEM販売	1,201	935	266	22.1%
合計	7,840	7,733	106	1.4%

< 自社販売 >

自社販売は、消化器系製品の市場競争による減少に対し、泌尿器系製品がフォーリートレイキットを中心に好調を維持したことにより、売上高4,581百万円（前年同期比0.9%増）となりました。

< 海外販売 >

海外販売は、中国市場の販売が泌尿器系製品を中心に現地通貨ベースで大幅に伸びたものの、為替の影響を受けたことで、売上高2,217百万円（前年同期比5.7%増）となりました。

< OEM販売 >

OEM販売は、血管系製品の一部契約が終了したことにより、売上高935百万円（前年同期比22.1%減）となりました。

財政状態の概況

（資産）

当第3四半期連結会計期間末の資産は、前連結会計年度末と比較して576百万円減少し16,661百万円となりました。これは、商品及び製品の増加113百万円、その他流動資産の増加93百万円に対し、受取手形及び売掛金の減少598百万円、機械装置及び運搬具の減少55百万円、建設仮勘定の減少104百万円が主な要因であります。

（負債）

当第3四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末と比較して469百万円減少し3,882百万円となりました。これは、賞与引当金の増加129百万円に対し、支払手形及び買掛金の減少245百万円、未払法人税等の減少63百万円、その他流動負債の減少168百万円、長期借入金の減少149百万円が主な要因であります。

（純資産）

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末と比較して106百万円減少し12,779百万円となりました。これは、利益剰余金の増加98百万円に対し、為替換算調整勘定の減少215百万円が主な要因であります。

（2）事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

（3）研究開発活動

当第3四半期連結累計期間における当社グループ全体の研究開発活動の金額は、475百万円であります。

なお、当第3四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

3【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

## 第3【提出会社の状況】

## 1【株式等の状況】

## (1)【株式の総数等】

## 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	30,000,000
計	30,000,000

## 【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末現在発行数(株) (2019年9月30日)	提出日現在発行数(株) (2019年11月8日)	上場金融商品取引所名又は登録認可金融商品取引業協会名	内容
普通株式	9,664,327	9,664,327	東京証券取引所 市場第一部	単元株式数 100株
計	9,664,327	9,664,327	-	-

## (2)【新株予約権等の状況】

## 【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

## 【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

## (3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

## (4)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総数増減数 (株)	発行済株式総数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増減額 (千円)	資本準備金残高 (千円)
2019年7月1日～ 2019年9月30日	-	9,664,327	-	1,461,735	-	1,486,022

## (5)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(6) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(2019年6月30日)に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

2019年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 348,900	-	単元株式数100株
完全議決権株式(その他)	普通株式 9,306,100	93,061	同上
単元未満株式	普通株式 9,327	-	1単元(100株)未満の株式
発行済株式総数	9,664,327	-	-
総株主の議決権	-	93,061	-

(注)「単元未満株式」の欄には、当社所有の自己株式60株が含まれております。

【自己株式等】

2019年9月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
クリエートメディック株式会社	横浜市都筑区茅ヶ崎南二丁目5番25号	348,900	-	348,900	3.61
計	-	348,900	-	348,900	3.61

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間（2019年7月1日から2019年9月30日まで）及び第3四半期連結累計期間（2019年1月1日から2019年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人による四半期レビューを受けております。

## 1【四半期連結財務諸表】

## (1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,281,068	4,271,530
受取手形及び売掛金	1 2,399,282	1,800,497
電子記録債権	1 1,041,793	1,040,609
商品及び製品	1,601,725	1,715,703
仕掛品	670,243	638,570
原材料及び貯蔵品	705,088	698,543
その他	337,659	430,800
貸倒引当金	1,000	1,000
流動資産合計	11,035,862	10,595,253
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,714,867	2,698,799
機械装置及び運搬具(純額)	425,459	369,621
土地	1,658,678	1,658,678
建設仮勘定	183,408	79,323
その他(純額)	283,848	350,491
有形固定資産合計	5,266,262	5,156,914
無形固定資産		
借地権	161,988	151,009
その他	52,629	79,511
無形固定資産合計	214,618	230,520
投資その他の資産		
投資有価証券	250,266	246,517
繰延税金資産	321,800	383,968
その他	148,852	48,460
投資その他の資産合計	720,919	678,946
固定資産合計	6,201,799	6,066,381
資産合計	17,237,662	16,661,635

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>		
支払手形及び買掛金	1,798,095	552,885
短期借入金	900,000	900,000
1年内返済予定の長期借入金	166,400	166,400
未払法人税等	158,610	94,736
賞与引当金	35,550	165,484
役員賞与引当金	18,681	14,260
その他	836,964	668,212
流動負債合計	2,914,302	2,561,979
<b>固定負債</b>		
長期借入金	258,800	109,000
退職給付に係る負債	1,076,790	1,095,720
役員退職慰労引当金	3,838	-
資産除去債務	3,398	3,453
長期末払金	92,509	78,337
その他	2,000	34,034
固定負債合計	1,437,335	1,320,545
<b>負債合計</b>	<b>4,351,637</b>	<b>3,882,525</b>
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>		
資本金	1,461,735	1,461,735
資本剰余金	1,486,022	1,486,022
利益剰余金	9,921,426	10,019,967
自己株式	291,290	291,407
株主資本合計	12,577,893	12,676,318
<b>その他の包括利益累計額</b>		
その他有価証券評価差額金	23,974	20,742
為替換算調整勘定	386,263	170,599
退職給付に係る調整累計額	102,107	88,549
その他の包括利益累計額合計	308,130	102,792
<b>純資産合計</b>	<b>12,886,024</b>	<b>12,779,110</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>17,237,662</b>	<b>16,661,635</b>

## (2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

## 【四半期連結損益計算書】

## 【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)
売上高	7,840,424	7,733,868
売上原価	4,213,951	4,003,568
売上総利益	3,626,473	3,730,299
販売費及び一般管理費	2,991,983	3,025,893
営業利益	634,489	704,406
営業外収益		
受取利息	11,294	16,645
受取配当金	3,373	3,556
保険配当金	3,129	3,388
為替差益	9,910	-
その他	6,650	9,456
営業外収益合計	34,358	33,047
営業外費用		
支払利息	4,747	6,105
為替差損	-	52,863
その他	3,005	2,774
営業外費用合計	7,752	61,743
経常利益	661,095	675,710
特別利益		
補助金収入	-	22,770
特別利益合計	-	22,770
特別損失		
固定資産売却損	19,781	-
特別損失合計	19,781	-
税金等調整前四半期純利益	641,313	698,481
法人税、住民税及び事業税	255,968	313,132
法人税等調整額	59,356	67,176
法人税等合計	196,611	245,955
四半期純利益	444,701	452,525
親会社株主に帰属する四半期純利益	444,701	452,525

## 【四半期連結包括利益計算書】

## 【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	444,701	452,525
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	28,875	3,231
為替換算調整勘定	149,594	215,664
退職給付に係る調整額	9,574	13,557
その他の包括利益合計	168,895	205,338
四半期包括利益	275,806	247,187
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	275,806	247,187
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

【注記事項】

(会計方針の変更)

一部の在外子会社は、第1四半期連結会計期間よりIFRS第16号(リース)を適用しております。当該会計基準の適用が四半期連結財務諸表に及ぼす影響は軽微であります。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示しております。

(四半期連結貸借対照表関係)

1 四半期連結会計期間末日満期手形等の会計処理については、手形交換日又は現金決済日をもって決済処理しております。

なお、前連結会計年度末日が金融機関の休日であったため、次の連結会計年度末日満期手形等が、前連結会計年度末残高に含まれております。

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
受取手形	22,746千円	- 千円
電子記録債権	58,987	-
支払手形	137,873	-

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。

なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)
減価償却費	260,112千円	281,090千円

## (株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自 2018年1月1日 至 2018年9月30日)

## 1 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2018年3月29日 定時株主総会	普通株式	176,993	19	2017年12月31日	2018年3月30日	利益剰余金
2018年8月2日 取締役会	普通株式	149,046	16	2018年6月30日	2018年9月10日	利益剰余金

## 2 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間末後となるもの

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)

## 1 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年3月28日 定時株主総会	普通株式	195,622	21	2018年12月31日	2019年3月29日	利益剰余金
2019年8月1日 取締役会	普通株式	158,361	17	2019年6月30日	2019年9月9日	利益剰余金

(注) 1株当たり配当額21円には設立45周年記念配当2円が含まれております。

## 2 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間末後となるもの

該当事項はありません。

## (セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

当社グループは、ディスプレイカテーテル・チューブの製造・販売を主な事業とした単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額	47円74銭	48円58銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益金額(千円)	444,701	452,525
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期純利益金額(千円)	444,701	452,525
普通株式の期中平均株式数(株)	9,315,419	9,315,347

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

## 2【その他】

第46期（2019年1月1日から2019年12月31日まで）中間配当については、2019年8月1日開催の取締役会において、2019年6月30日の最終の株主名簿に記録された株主に対し、次のとおり中間配当を行うことを決議いたしました。

配当金の総額	158,361千円
1株当たりの金額	17円00銭
支払請求権の効力発生日及び支払開始日	2019年9月9日

## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

2019年11月8日

クリエートメディック株式会社

取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 古山 和則 印

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 川村 敦 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているクリエートメディック株式会社の2019年1月1日から2019年12月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（2019年7月1日から2019年9月30日まで）及び第3四半期連結累計期間（2019年1月1日から2019年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、クリエートメディック株式会社及び連結子会社の2019年9月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- 
- (注) 1 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。  
2 XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。